

京都大学地球工学系（大学院地球環境学舎）社会基盤親和技术論分野准教授 公募要領

1. 公募人員

准教授 1名

2. 任期制の有無

無し

3. 所属

京都大学地球工学系（大学院地球環境学舎）(<http://www2.ges.kyoto-u.ac.jp/>)

地球親和技术学廊 社会基盤親和技术論分野

4. 勤務地

京都大学大学院地球環境学舎

（〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学吉田キャンパス内）

5. 職務内容

大学院地球環境学舎（研究部）・学舎（教育部）における研究・教育・運営に関わる業務、および工学部兼担教員（地球工学科）としての業務。地球環境学舎では社会基盤親和技术論を、工学部では土質力学の講義・演習・実験科目等を担当予定。

6. 専門分野

社会の基盤条件として不可欠である地盤・水文環境の保全と修復のためのインフラストラクチャー創生技術を環境社会システムとの関係において学際的に考究する。とりわけ、先進工業国から開発途上国といった幅広い社会経済状況下において普遍的に発生しその緊急的対応が世界的課題となっている地盤環境問題を工学的かつ学際的に解析し、それに対処するための技術に関する研究を行う。

7. 勤務形態

専門業務型裁量労働制（1日7時間45分相当）を適用する。

8. 給与・手当

本学支給基準に基づき、決定する。

9. 社会保険等

文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入。

10. 選考方針

- ① 「専門分野」の項で示した専門分野で顕著な業績を有し、さらに、この分野で研究を進めるための優れた研究能力、指導能力を有する者。
- ② 発展途上国の環境問題に対する研究に関心を有し、さらに、現地研究者と共同研究を推進するための優れた指導能力と協調性を有する者。
- ③ 大学院地球環境学舎および工学部における教育と研究指導に優れた能力と意欲を有する者。
- ④ 教員としてふさわしい人格を持ち、協調性を有する者。

11. 応募資格

博士の学位を有する者。

1 2. 応募期限

2018年8月30日（木）必着

1 3. 着任時期

2018年12月1日以降のできるだけ早い時期

1 4. 試用期間

あり（6カ月）

1 5. 応募書類

各4部（③は一部のみで可）

- ① 履歴書：写真添付、住所・連絡先（電話番号・電子メールアドレスを含む）・学歴（高等学校卒業以降）・職歴・研究歴・学会活動等社会活動歴・資格・賞罰などを記載のもの。（1部は原本、他はコピー可）
- ② 論文目録：査読のある学術論文・国際会議論文・総説・査読の無い論文・著書・特許に分類し、各論文等について著者名（全員掲載）・論文名・学協会誌名・巻（号）・最初と最後のページ・発表年（西暦）を記載のもの。
- ③ 主要論文5編の各別刷（1部のみで可）。
- ④ 現在までの研究内容とその成果（目録に記載の論文に対応させて記述；A4判3～5ページ）。
- ⑤ 最近5年間における科学研究費などの競争的資金の獲得状況（資金の種類、研究課題名、代表・分担の別、分担の場合は研究代表者の氏名）。
- ⑥ 研究と教育に対する抱負：着任後5年間程度で行う予定の研究計画（研究課題・研究目的・研究の準備状況・研究計画および方法など）および教育方針（A4判3～5ページ）。
- ⑦ 応募者について意見を伺える方2名を示すリスト（氏名・所属・職名・連絡先・メールアドレス）

なお、応募書類は返却しません。

1 6. 面接

書類選考の後、若干名の候補者に対し面接を行うことがあります。旅費や滞在費などは、応募者の自己負担とします。

1 7. 男女共同参画

京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待します。

1 8. 応募書類提出先および問い合わせ先

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院地球環境学堂・学舎 総務掛気付

社会基盤親和技術論分野准教授選考委員会 勝見 武

応募書類は、「社会基盤親和技術論分野准教授応募書類在中」と朱書きし、持参もしくは簡易書留郵便にてご提出下さい。また、問い合わせは封書またはEメールに限らせていただきます。

Eメールアドレス：katsumi.takeshi.6v@kyoto-u.ac.jp